

## 第2学年 総合的な学習の時間 学習指導案

那覇市立松島中学校 教諭 高良 直人

### 1 単元名 「すい（首里）ま〜い」 \*沖縄の方言⇒(すい⇒首里)(ま〜い⇒廻り・巡り)

#### 2 単元の目標

- ・首里城周辺の貴重な文化遺産や豊かな自然について学び、身近にある地域資源について知識を深める。また、習得した知識をレポートやプレゼン等でまとめる。(知識・技能)
- ・首里城周辺の貴重な文化遺産や豊かな自然を守るため、様々な取り組みが行われているが、地域に住む者として、何ができるのか？友人たちと共に考える。また、この環境を後世に残していくためには何が必要なのか？課題を探究していく。(思考・判断・表現)
- ・首里城周辺の貴重な文化遺産や豊かな自然の今後のあり方について考え、皆で共有しながら、保全のための地域活動を実際に行っていく。(主体的に学習に取り組む態度)

#### 3 単元について

##### (1) 教材観

- ・身近にある首里城周辺の貴重な文化遺産や豊かな自然は、沖縄特有のものが数多く存在している。この豊かな地域資源について学び、実際にそこに入り、探求活動を行うことはSDGsの「多様性」「相互性」にも結びつく深い学習になると考える。
- ・首里城周辺の貴重な文化遺産や豊かな自然について、保全活動に関わっている人々を招き、実際の活動の様子や、今後の課題について学ばせることで地域資源や環境にも目を向けることができ、「持続可能な社会」への関心も引き出し、今後の生徒自らの活動の意欲や意識付けにも繋がるものと考え。
- ・実際のフィールドワークを通して、仲間たちと協力しながら現地で主体的に学び合い、探求活動を行うことで、自分の生活や地域との関わりを見つめ直す良い機会にもなると考える。さらに、この活動を通して地域社会のあり方や課題にも目を配り、今後の自己の生き方を考えるための良い教材になりうると考える。

##### (2) 生徒観

- ・本校2年生は200名で、男女ともに活発な生徒が多く、仲も良い。授業の中での意見交換や発表なども積極的に行えるなど好感が持てる。フィールドワークでも友人たちと協力しながら活発な探求活動が展開できることを期待している。
- ・「首里城周辺の歴史遺産や豊かな自然」と銘打って、事前学習を行った。授業後に、生徒から取ったアンケートの結果が次の通りである。
  - 「Q 首里城に行ったことがありますか？ 80.2%。⇒行ったことがない 19.8%。」
  - 「Q 今日の授業を通して、首里城について興味がわきましたか？⇒ 92.8%」
  - 「Q 『首里（すい）ま〜い』で何を見てみたい？調べてみたいと思いましたか？」
  - 「A 首里城正殿の復興の様子」「A 首里城周辺の自然（龍潭池）」
  - 「A 玉稜」「A 園比屋武御嶽石門（そのひゃんうたきいしもん）」・・・等々。
- ・その他、SDGsの関連項目についても生徒から「⑩住み続けられるまちづくりを」「⑮陸の豊かさを守ろう」というキーワードが飛び出し、「首里（すい）ま〜い」の

フィールドワークを通して、幅広い学習に期待感を膨らませている様子が見えてくる。

また、地域や社会に係わる総合的な学習になるよう意欲的に取り組みたいという意見も多く寄せられている。

### (3) 指導観

・本単元の指導にあたっては、まず、「首里城周辺の貴重な歴史遺産や豊かな自然」について事前学習を行う。生徒観でも述べたように、身近にある豊かな自然と文化遺産にかなり興味・感心が高いものと伺える。その生徒の興味関心を土台に、2時間でICTを活用し調べ学習を行い、実際に現地に入り、何が見たいのか？何について調べたいのか？を考えさせる。(修学旅行の班で行うため、ルートマップも作成させる)

・また、首里城公園の保全に係わる方を講師として招き、首里城公園周辺の歴史遺産や自然遺産の概要と現状、課題について学ばせる。自ら調べた内容と現地で活躍している人の講話を聞き、首里城周辺の歴史遺産や豊かな自然についての知識を深めさせる。

・「修学旅行の班」に分かれて、フィールドワークを行うが仲間で協力して、調べて学習させることで、次のESD資質能力等の育成にも結びつけていきたい。

・首里城は5回焼失しており、繰り返し再建されてきた事実を知らせる。また、沖縄戦の艦砲射撃で壊滅的被害を受けた事実と、修学旅行で行く長崎の原爆被害からの復興について共通点を見いださせ、世界平和への在り方についても学ばせたい。

### (4) ESDとの関連

#### ・本学習で働かせるESDの視点(見方・考え方)

相互性・・・首里城周辺には、貴重な歴史遺産や豊かな自然が残されているが、観光業と保全で、様々な課題が出ていて、存続が危ぶまれている現状もある。

連携性・・・首里城周辺の歴史遺産や豊かな自然を守るため、様々な取り組みがなされているが、地域に住む者として何が出来るかを一緒に考えていく必要がある。

責任制・・・首里城周辺の歴史遺産や豊かな自然を守るため、私たち地域住民が、今後のあり方について真剣について考え、課題についてどう解決していくのか？また、保全のための取り組みや活動を実践していくことが大切である。

#### ・本学習を通して育てたいESDの資質・能力

「多面的・総合的に考える力」

首里城周辺の歴史遺産や豊かな自然が地域の資源として、人・社会・自然など様々なものと繋がっていることを理解させ、多面的・総合的に考える力を培う。

「他者と協力する態度」

フィールドワークを通じて、他者の立場に立ち、他者の考えや行動に共感するとともに、他者と協力・協同してものごとを進めようとする態度を培う。

「つながりを尊重する態度」

講演や調べ学習、実際のフィールドワークを通して、人・社会・自然などと自分の繋がり・関わりに関心を持ち、それらを尊重し大切にしようとする態度を培う。

#### ・本学習で変容を促すESDの価値観

「自然環境や生態系保全を重視する(人と環境との関係)」

人は自然の一部だということを改めて認識させ、首里城周辺の豊かな自然の魅力や現状を知り、地域の環境を守るために何が出来るかを考えさせる。

「環境と社会生活＝幸福感を大切にする（人と人との関係）」

身近にある首里城周辺の貴重な歴史遺産や豊かな自然に恩恵を受けていることを大観させる。また、先人たちが、環境に配慮しながら、このような歴史遺産や豊かな自然を残してきた実績や背景を大観させる。先人たちに習い、伝統文化の継承や環境に配慮しながら社会生活を営むことが、持続可能な社会作りに繋がることを理解させる。

「世代間の公正＝過去世代及び将来世代（人と人との関係）」

首里城周辺の貴重な歴史遺産や豊かな自然の保全のための、先人達の苦労や努力を尊重し、あるべき未来像（ビジョン）を予想させ、後生に残していくために何ができるかを考えさせる。持続可能な社会作りのための実際の行動を促す。

（次世代に対する責任）

・達成が期待されるSDGs

「⑩住み続けられるまちづくりを」

「⑭海の豊かさを守ろう」

「⑮陸の豊かさを守ろう」

「⑯平和と公正をすべての人に」



4 単元の評価基準

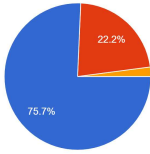
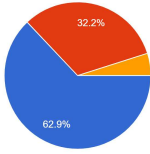
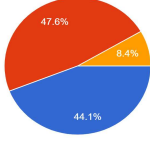

(ア) 知識及び技能	(イ) 思考力・判断力・表現力等	(ウ) 主体的に学習に取り組む態度
<p>①首里城周辺の貴重な歴史遺産や豊かな自然について学び、貴重な地域資源について知識を深めることができた。</p> <p>②習得した知識をプレゼンやレポートなどでまとめることができた。</p>	<p>①首里城周辺の貴重な歴史遺産や豊かな自然を守るため、地域に住む者として何ができるのか？考えることができた。</p> <p>②友人たちと、この文化遺産や環境を後世に残していくためには何が必要なのか？課題を探究し発表することができた。</p>	<p>①首里城周辺の貴重な歴史遺産や豊かな自然の、今後のあり方について考え、保全のための活動に何が出来るのかを考え、実際に係わることができた。</p> <p>②「首里（すい）ま〜い」で学んだことを、地域の人に発信することができた。</p>

5 単元の指導計画（全9時間）

学習活動	○学習への支援	○評価・備考
<p>1 事前学習（ガイダンス）</p> <p>「首里城周辺の貴重な歴史遺産や豊かな自然について」</p> <p>・身近にある首里城公園には豊かな自然環境が数多く残されている。</p> <p>・首里城周辺には貴重な文化遺産や豊かな自然遺産が数多く残されている。</p>	<p>○学習への支援</p> <p>・事前学習「ガイダンス」を通して「首里城周辺の貴重な歴史遺産や豊かな自然について」概要を説明して生徒の興味・関心を導き出す。</p> <p>・これからの学習に対する見通しを持たせ、どんなことを学びたいのか？どんな体験をしたいのか？を考</p>	<p>○評価・備考</p> <p>～見つめる①～</p> <p>(ア) (地・技)</p>

<p>・これからの、「首里（すい）ま～い」に関して、何を調べたいのか？どんな体験をしたいのか？みんなで考える。</p>	<p>えさえる。 ・首里城が戦争により焼失した事実を伝え、長崎の原爆被害との関連性を考えさせる。(平和学習にも繋げる)</p>	
<p>2 「首里城周辺の貴重な歴史遺産や豊かな自然」について ～首里城公園より講師を招き講演会～</p>	<p>・「首里城周辺の貴重な歴史遺産や豊かな自然」について魅力や今ある課題について、話してもらい、探究学習の道標を開かせる。</p>	<p>～見つめる②～ (ア) (地・技) (イ) (思・判・表)</p>
<p>3 「すい（首里）ま～いのルートマップ作成」 ・6つのグループ（修学旅行班）で、首里城周辺の歴史遺産や豊かな自然について調べ、話し合い、ルートマップを作成する。</p>	<p>・グループワークが上手くいくようにフォロー・アドバイスをする。 ・フィールドワークが上手くいくようにルートマップの作成にアドバイスする。</p>	<p>～見つめる③～ (ア) (地・技) (イ) (思・判・表) (ウ) (主体的)</p>
<p>4・5・6・7 「首里（すい）ま～い」 フィールドワーク実践 ・各ポイントを巡り、現地資料ガイドの話を聞き学習する。 ・それぞれが、調べたい課題について実際に見聞し学習する。 ・学んだことや発見したことはタブレットで写真を撮り、事後学習用の資料を集める。</p>	<p>・安全に学習が実施できるよう細心の注意を払う。(保護者と連携を払う) ・班活動がしっかりできるように立哨等で、フォローをする。 ・探求学習が上手くいくように立哨、見守り、声かけ支援をする。 ・フィールドワークを修学旅行にも生かされるよう各グループ活動を温かく声かけ支援する。</p>	<p>～深める④⑤⑥⑦～ ～体験する～ (ア) (地・技) (イ) (思・判・表) (ウ) (主体的)</p>
<p>8・9 「フィールドワーク事後学習」 ・学んだことや発見した事をまとめる。 ・首里城の貴重な歴史遺産や豊かな自然を守るため今後、何ができるかを皆で考える。</p>	<p>・各種資料を活用しながら、グループで協力し、レポートやプレゼンなどでまとめさせる。 ・首里城周辺の文化活動やSDGs委員会のボランティア等と連携付けさせる。</p>	<p>～広げる⑧⑨～ (ア) (地・技) (イ) (思・判・表) (ウ) (主体的)</p>
<p>10 「首里（すい）ま～い」発表会 「首里城公園」にて展示・発表する。 (地域や観光客に向け発信)</p>	<p>・首里城公園にて、グループで作成したのパンフレット資料やプレゼンを展示・発表してもらう。</p>	<p>～広げる⑩～ (ア) (地・技) (イ) (思・判・表) (ウ) (主体的)</p>

## 6 成果と課題 (○⇒成果 △⇒課題)

<p>① 首里城周辺の貴重な歴史遺産や豊かな自然について学ぶことができた。 144件の回答</p>  <p>● 十分できた。 ● ある程度できた。 ● あまりできなかった。</p> <p>② 首里城周辺の貴重な歴史遺産や豊かな自然...ものとして何が出来るか?考えることができた。 143件の回答</p>  <p>● 十分できた。 ● ある程度できた。 ● あまりできなかった。</p> <p>③ 首里城周辺の貴重な歴史遺産や豊かな自然を...めに、自分で何かしら実践・行動したいと思う。 143件の回答</p>  <p>● 実践・行動したい。 ● 友だち同士でなら、実践・行動したい。 ● あまり思わない。</p>	<p>○単元の目標である「首里城周辺の貴重な文化遺産や豊かな自然について学び、身近にある地域資源について知識を深める」ことが十分達成できたものとする。(右の資料参考)</p> <p>○「地域に住むものとして何が出来るか?考えることができた」「歴史遺産や・自然を守るために何かしら行動・実践してみたいと思う」2つの振り返りアンケート結果で肯定的な意見が90%を越えた。</p> <p>○フィールドワークを通し、積極的なインタビューや課外活動ができるようになっている。</p> <p>○修学旅行の「長崎自主学习」でも、その成果が見られ、充実した学習を実施していた。</p> <p>○「すい(首里)ま〜い」が4年目を迎える。保護者の参加も増え学習として定着してきた。(参加した保護者からも好評価を得ている)</p> <p>(1年生も次年度の実施を楽しみにしている)</p>
<p>〔生徒が今後、具体的に取組みたいこととして挙げた意見〕(振り返りアンケートより)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○景観維持のために活動や、首里城復興のための活動に参加したい。</li> <li>○歴史遺産や地域にある自然についての情報を広めて皆に認知したい。</li> <li>○「首里城祭」などのイベントに参加する。(実際に参加したメンバーがいる⇒旗頭等)</li> <li>○沖縄特有の色使いやデザインを私の絵にも取り入れて沖縄の綺麗なデザインを伝えたい。</li> <li>○景観維持のためにゴミ拾いを頑張る…。等</li> <li>○達成が期待されるSDGsについても、生徒達への周知が進んでいて、意識が高まっている。</li> </ul> <p>「⑪住み続けられるまちづくりを」  「⑭海の豊かさを守ろう」  「⑮陸の豊かさを守ろう」  「⑯平和と公正をすべての人に」</p> 	

<p>△本校のテーマである教科等横断的な学習に関しては、教科間の調整がまだ不十分である。</p> <p>△年間指導計画にESDの資質・能力育成のための手立てをもっと積極的に盛り込む必要がある。</p> <p>△フィールドワークを実践するための時間割の調整と安全管理の支援がまだまだ不十分である。</p> <p>△授業実践のため、地域の人材や企業との事前の打ち合わせをもっと綿密に行う必要がある。</p> <p>(お互いがwin-winの関係になることで、SDGs⑩「パートナーシップ」に持続可能性にも繋がるものと考えているので、もっと積極的に働きかけていくことも必要だと思う)</p> <p>△全教職員でESDについて共通理解を得て、親しみながら研究の持続可能性を探っていく必要がある。</p>
---